



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2005.7 月号

夏期特別展「平塚のお祭りーその伝統と創造ー」

開催期間：7月23日（土）～9月4日（日）

この夏、平塚市の神社祭礼をテーマに特別展を開催します。

ご紹介する神社は58社。いかなる基準で58社を選んだのかと申しますと、まずは江戸時代天保年間の『新編相模國風土記稿』に、村の「鎮守」と記載されている神社で、これが43社にのぼります（合祀された鎮守社を除く）。次に『新編相模國風土記稿』では村や小名の小鎮守や小祠に位置付けられていたお宮さんのうち、鎮守に匹敵する規模の祭礼が行われている神社（八幡八坂神社など）9社を取り上げました。また、近世村の鎮守から分離し、小鎮守を氏神として祭祀している神社（土屋早田の造化神社など）が4社あります。残りの2社は、近世以降に祀り始めて現在は地域の鎮守になっている神社です。

これで、神社の無い新興住宅地にお住まいの方を除けば、市民の皆さんの鎮守様を網羅できたのではないかと考えています。つまり58社は地域の鎮守49社+鎮守の例祭に匹敵する規模の祭礼を行っている9社ということになります。この58社の例大祭行事の現状を写真とビデオでご紹介します。

さらに、展示では、神輿や山車、太鼓や笛など神社祭礼に関する実物資料を紹介します。そして、平塚市のお祭りの特色についてお伝えします。また、お祭りは戦前、戦中、戦後、高度成長期、そして現在と、世の中の動きにつれてその内容も大きく変化してきました。今も残る平塚のお祭りの伝統とは何か、失われた伝統は何か、どんな新しい要素が付け加わったのか、そしてお祭りを盛り上げるために各地でどんな創意工夫がなされているか、古い写真も展示して過去から現在への変遷をたどり、平塚のお祭りの伝統と創造を探っていきます。どうぞ、お楽しみに。

☆関連行事☆

○ひらつか囃子太鼓フェスティバル

内容：平塚市内8つの囃子太鼓団体による演奏をご堪能ください。

日時：8月6日（土）午後1時～4時30分（雨天実施）

場所：文化公園（博物館前）

出演：入野太鼓保存会、城所太鼓保存会、前鳥神社囃子太鼓保存会、田村ばやし保存会、豊田西町自治会、豊田本宿自治会、中原町内会、馬入祇園ばやし保存会

見学：自由

○特別展記念講演会「まつりとは何か」

講師：小川直之氏（國學院大学教授）

日時：8月14日（日）午後2時～4時

会場：博物館講堂

参加：自由



展示される豊田西町の山車

平塚のお神輿

神輿渡御と囃子太鼓はお祭りの華です。現在、平塚市では27社ほどが例大祭でお神輿を担いでいます。また、ほとんどの神社で子供神輿を出します。ここでは、平塚市の神輿の特色をかいつまんでご紹介することにします。

平塚のお神輿は「どっこい、どっこい」の掛け声とともに、神輿の台輪に付いている金具を「バン、バン」と激しく打ち鳴らして調子をとります。台輪の金具は箆の取っ手のような形をしているため、一般にタンスと呼ばれています。正式には環といい、環が付いているのがまず湘南神輿の特徴です。

神輿の輿棒、担ぎ棒のことを台棒といいます。平塚の神輿はすべて台棒が2本、すなわち二天で担ぎます。鎌倉以東や小田原以西、また県央以北の神輿は台棒が四天か六天の神輿が多くなります。

一般に神輿は、台棒の外側から肩を入れて担ぐのが普通です。平塚では台棒の内側に人が入り、身を寄せ合うようにして担ぎます。台棒の内側に入っていれば、神輿を倒したときに下敷きにならずに済むとも言われています。

神輿担ぎの調子をとる掛け声は、99%が「どっこい、どっこい」や「どっこい、そーりゃ」のどっこい担ぎです。ところが、昔から「どっこい」で担いでいたのは、須賀の三嶋神社だけで、それもいろんな掛け声のひとつに「どっこい」もあったという程度でした。他の神社は「わっしょい」が基本で、三ノ宮比々多神社のような「よーとうさっせ、よいとこーりゃさっせ」などもありました。それが昭和50年以降、各地に神輿保存会が結成され、他地域の担ぎ手との交流が活発になると、いっぺんにどっこい担ぎへ変わっていったのです。

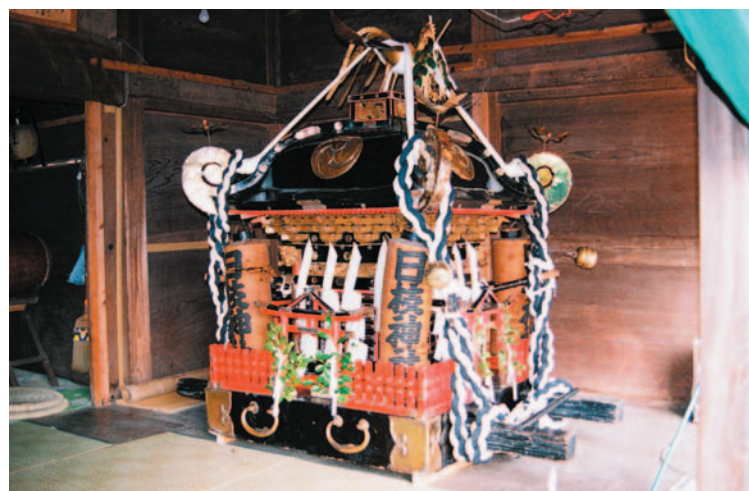
神輿の発着の際には甚句が唄われます。須賀甚句は明治時代に下田や大島から伝えられたといわれ、当初は大漁祝いの宴席で、茶碗を箸で叩きながら即興の文句をつけて唄っていたのが、のちに神輿渡御に取り入れられました。須賀以外ではほとんどが昭和50年以降から甚句を唄うようになり、須賀の神輿担ぎが周辺地域へ及ぼした影響力は絶大なものがあつたと考えられます。

今まで述べてきたことは概ね藤沢～二宮にかけてのいわゆる湘南神輿に共通する特色です。なかでも、「どっこい」と甚句のルーツを探るのは興味深いことです。まだ真相は明らかにされていませんが、茅ヶ崎市南湖あたりが有力視されているようです。須賀が発信地であった可能性も否定はできません。いずれにせよ、甚句とどっこいが相模湾沿岸域で生まれた独自の祭文化であることは明らかで、今も東へ西へ内陸へと波及し続けています。（浜野）



中原神輿

台輪の環を打ち鳴らして調子をとる



寺田縄神輿

大山の宮大工・手中明王太郎の作で、慶応2年に比々多神社から譲り受けた。一本作りの太い蕨手と山王鳥居が特徴。寺田縄でも暴れ神輿の伝統を受け継ぎ、神輿を地面に倒すこともあつた。



展示される入野八坂神社の神輿

西岡田村（現寒川町岡田）で文化9年に再興され、明治27年に修復して、同29年頃に入野が譲り受けした神輿。平塚で最古の年代が墨書されている神輿である。

博物館 夏の行事のご案内

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時：7月9日（土）午前9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由（ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと）

◎体験学習「縄文土器を作ろう」

日時：7月21・22日（木・金）・8月27日（土）、午前10～午後4時

対象：小5年～中学生

定員：20名（多数の場合は抽選）

参加：往復はがきで申し込み。（3日間参加できる方）、材料費実費。

〆切：7月8日（金）

◎こども考古学クラブ

日時：7月27日（水）、29日・30日（金・土）、午前10～午後4時

対象：小5年～中学生

定員：20名（多数の場合は抽選）

参加：往復はがきで申し込み。（3日間参加できる方）

〆切：7月15日（金）

◎自然観察入門講座「貝化石を調べる」

大磯海岸で貝化石を調べます

日時：7月28日（木）、午前9時～午後4時

対象：小学生4年生以上

参加：往復はがきで申し込み。

〆切：7月17日（日）

◎君もプラネタリアン

プラネタリウムという空間で、写真・映像・音楽などを使った自己表現を試みてみませんか。

日時：7月31日（日）、8月6日（土）・20日（土）午後3時～午後6時

対象：親子で参加できる方

参加：往復はがきで申し込み

定員：5組（多数の場合は抽選）

場所：プラネタリウム

〆切：7月15日（金）

◎体験学習「地形模型を作ろう」

厚紙を切り抜いて地形模型を作ります。

日時：8月18・19日（木・金）午前9時～午後4時

対象：小学校4年生以上

定員：20名（多数の場合は抽選）

参加：往復はがきで申し込み。（2日間参加できる方）、材料費実費（1700円）。

〆切：7月31日（日）

◎雑貨団・シアトリカル・プラネタリウム Vol.12 銀河のヒータービーター

～ The Heater Beater of our Universe ～
「だれだって きっとみんな さがしてる」

場所：平塚市博物館プラネタリウム

全2回公演

開催日：8/26（金）14：00 & 18：00 開演（開場は開演の30分前）

入場無料

予約方法：8/2（火）より博物館に電話で申し込み。

〆切：公演2日前または定員になり次第予約締め切り。

◎舞台裏探検ツアー

ふだん見られない博物館の舞台裏を学芸員が案内します。

日時：8月12日（金）、19日（金）、26日（金）の午後1時30分～午後3時

集合：博物館受付前、自由参加

◎夏のミニ文化祭

2階の情報コーナーで高校生、大学生の研究成果を展示

○7月30日（土）～8月19日（金）

「湘南海岸の植物たち」東海大学教養学部藤吉研究室

○8月23日（火）～9月10日（土）

「ま水にすむ貝の研究から」向上高校生物部

博物館カレンダー

2005年7月の行事

7	1	金	古文書講読会	講堂
7	2	土	地質調査会	野外
7	3	日	水辺の楽校生きもの調べの会 星まつりを調べる会	水辺の楽校 屋外
7	7	木	展示解説ボランティアの会	特研室
7	8	金	古文書講読会	講堂
7	9	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
7	10	日	古代遺跡を探す会 地質調査会	野外 科学室
7	14	木	石仏を調べる会	特研室
7	15	金	古文書講読会	講堂
7	16	土	リレートーク「市民が探る平塚空襲」	講堂
7	17	日	◎ 民俗探訪会「展示製作」 ろばたばなし	講堂 展示室
7	20	水	裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研室
7	21	木	◎ 展示解説ボランティアの会 体験学習「縄文土器を作ろう」	特研室 科学室
7	22	金	◎ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
7	23	土	☆ 夏期特別展「平塚のお祭り その伝 統と創造」(～9/4) ☆ プラネタリウム「アインシュタインの夢」(～9/4)	特展室 プラネ室
7	23	土	空襲と戦災を記録する会 地域史研究入門ゼミ	特研室 講堂
7	24	日	相模川の生い立ちを探る会	野外
7	27	水	◎ 体験学習「こども考古学クラブ」	野外
7	28	木	◎ 自然観察入門講座「貝化石を調べる」 石仏を調べる会 ◎ 星を見る会「夏の星空」	野外 特研室 屋上・科学室
7	29	金	◎ 体験学習「こども考古学クラブ」	科学室
7	30	土	◎ 体験学習「こども考古学クラブ」 天体観察会「スターウォッチング調査」	科学室 屋上・科学
7	31	日	◎ 天体観察会「スターウォッチング調査」 君もプラネタリアン	屋上・科学室 プラネ室

<展示とプラネタリウム>

- ☆夏期特別展「平塚のお祭りーその伝統と創造ー」
平塚市内の神社祭礼に関する写真、ビデオ、お神輿、太鼓などを展示します。
会期：7月23日(土)～9月4日(日)
◎ひらつか囃子太鼓フェスティバル
日時：8月6日(土)午後1時～午後4時30分
場所：文化公園(博物館前)
- ☆プラネタリウム
◎「7月の天文現象」
投影日：7月2日(土)午後2時
◎「太陽の動き・星の動き」
投影日：～7月17日(日)までの土曜日、日曜日の午前11時と午後2時(7月2日の午後2時を除く)
観覧料：100円(中学生以下無料)
◎ 児童向け投影「はやぶさと小さな星にお出かけ」幼児・小学校 低学年
投影日：7月16日(土)までの土曜日の午前11時
◎「アインシュタインの夢」
投影日：7月23日(土)～9月4日(日)までの土・日・水・木曜日の午前8時と午後2時
- ☆寄贈品コーナー「平塚大空襲60周年記念展」

2005年8月の行事

8	3	水	☆ 寄贈品コーナー「平塚の祭半纏」(9/6)	展示室
8	4	木	◎ 星を見る会「夏の星空」 天体観察会「スターウォッチング調査」	屋上・科学室
8	5	金	古文書講読会	講堂
8	6	土	◎ 君もプラネタリアン ◎ ひらつか囃子太鼓フェスティバル	プラネ室 文化公園
8	7	日	古代遺跡を探す会	野外
8	11	木	石仏を調べる会	特研室
8	12	金	◎ 天体観察会「流星群」 ◎ 舞台裏探検ツアー	月光天文台 博物館受付
8	13	土	◎ 漂着物を拾う会 ◎ 地質調査会 ◎ 天体観察会「流星群」	虹ヶ浜 野外 月光天文台
8	14	日	◎ 水辺の楽校生きもの調べの会 ◎ ろばたばなし ◎ 特別展記念講演会「まつりとは何か」	水辺の楽校 展示室 講堂
8	17	水	裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研室
8	18	木	◎ 展示解説ボランティアの会 ◎ 体験学習「地形模型」 ◎ 星を見る会「夏の星空」	特研室 科学室 屋上・科学室
8	19	金	◎ 体験学習「地形模型」 ◎ 舞台裏探検ツアー	科学室 博物館受付
8	20	土	◎ 自然の新聞を作る会 ◎ 君もプラネタリアン ◎ 学芸員による展示解説	野外 プラネ室 展示室
8	21	日	相模川の生い立ちを探る会	野外
8	25	木	◎ 石仏を調べる会 ◎ 星を見る会「夏の星空」	特研室・横内 屋上・科学室
8	26	金	◎ 古文書講読会 ◎ 舞台裏探検ツアー	講堂 博物館受付
8	27	土	◎ 体験学習「縄文土器を作ろう」 ◎ 地質調査会 ◎ 星まつりを調べる会 ◎ 空襲と戦災を記録する会 ◎ 地域史研究入門	科学教室 特研室 講堂
8	28	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会 ◎ 民俗探訪会「展示見学」	プラネ室 講堂

☆：展示(無料)、プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

- 空襲60周年にあたり、平塚の空襲と戦跡を記録する会の活動成果を展示します。
会期：～7月31日(金)まで
- ◎平塚大空襲60周年記念事業「市民が探る平塚空襲」
日時：7月16日(土)
①午前の部・「リレートーク 市民が探る平塚空襲」
空襲体験者の証言や平塚の空襲と戦災を記録する会の調査成果から空襲の実態を探ります。
時間：午前10時～12時
場所：博物館講堂
- ②午後の部・空襲体験紙芝居「なつのおもいで」公演
空襲体験者が自らの体験をもとに作成した紙芝居を公演します。
時間：(1)午後1時30分～(2)午後15時～
場所：寄贈品コーナー
- ◎ろばたばなし
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
日時：7月17日(日)(1)午後1時20分～(2)午後3時
場所：展示室・民家

あなたと博物館 31巻 4号 通算343号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/